第 8 号
昭和31年3月25日発行

富士市広報

富士市平垣279番地
発行所 富士市役所
発行人 富士市長
印刷所 加藤印刷所

三月定例市議会にて 昭和三十一年度 施政方針

三月定例市議会は、三月一日招集され昭和三十一年度富士市歳入歳出予算案の外十三議案を提案しました。

遠藤市長は昭和三十一年度予算編成の大綱とこれに基く施政方針の説明を行いましたので、次にその大要を記してみます。

春寒料峭の折柄議員各位には愈々御健祥にて常に事巨細となく市政のため御尽瘁を賜り感銘この上なく玆に第三回議会開会に当り謹んで深甚なる敬意と感謝を表する次第であります。

さて市制施行第三年目に当る昨年度即ち昭和三十年度予算提出に際し既に申し上げました通り、新市建設の最も重要な基盤確立の年度に当り乍ら、地方税制の改正と、国家の緊縮財政堅持と更に新市建設の、命の綱と頼みたる町村合併促進法の空文にも等しき状態に災され、当市の財政は極めて悲観すべきものが有り市政執行者として私の苦衷は誠に大なるものがある事を率直に申し上げました事は御承知のことと存じます。

かかる困難なる財政下に有つても市政は一日もこれを忽にする事は出来ないので有ります。私は四万市民より寄せらるる重責を想起し、如何にしてこの負托に答えんかと日夜苦脳を続けたのであります。

幸いにして七千余万円の追加財源を得て当初企画致しましたる主たる事業完成の見透しを得ました事は私の最も欣快に堪えない所であります。之れ一重に市民各位の御理解と議員諸賢の絶大なる御協賛の賜ものによる事と存じ玆に重ねて御礼を申し上げます。

三十一年度基本方針

次に今般提出致し御審議を煩しまする昭和三十一年度各種予算とこれに附随する諸議案は既に御手許に配布しました通りで有りますが、以下その編成の経緯と施政方針について御説明申し上げます。

御承知の通り現下我国の経済界は一応の安定を見たと申し乍ら唯手離に楽観する訳にもまいりません、試みに国家予算を見ましても三十一年度に於いて一兆三百四十億余、僅かに一兆円のわくを切つたに過ぎません。これが地方財政に及ぼす影響は誠に微々たる額であります、繰つて地方財政の現状は逐年の赤字累積による財源の不足は抜本的な改革を謂ぜざる限りその解消は出来得ないまでに窮迫した情勢に来ております。

従つて政府の三百四十億円余の増額予算では三十一年度地方財政は更に厳しい情勢に有ることを覚悟せねばなりません。

当市についてこれを見ますに本州製紙の大工場指定二年目による固定資産税の減収、更に大昭和製紙富士工場の新なる指定も決定的であります。加えて市内有力工場の操業停止の事は既に御承知の通りであります。以上に起因し当市財政に及ぼす影響は誠に寒心に堪えないものがあります。しかし乍ら工場従業員たる多数市民諸君が生計の道を失なわれる事を想う時、誠に同情に堪えません。一日も速やかに工場再開を祈つてやみません。

以上国家経済、地方財政、市財政の見透等を勘案し本年度予算は当市財政の健全性の確保を第一としまず自己財源の確実なる見透しの上に立つて、以つてその歳出の規模を定め、歳入が歳出に不足する場合に於いては積極的に歳出の節減合理化に努めることを予算立案に当つて、基本方針といたしたのであります。

（施政方針演説中の市長）

歳入について

以上の基本方針に基き市一般会計予算について申し上ぐるならばまず歳入面については慎重に検討を加えました結果本市財源の大宗たる市税収入に於いて一億四千三百九十四万円を見込み、税外に七千百二十一万七千二百円を求め合計二億一千五百十五万七千二百円を決定した次第であります。

然し前述の額は三十年度当初予算に比較いたしまして一千余万円の増額となつております。

前年度より苦しい財源を予想しながら、尚敢えて増額予算を編成しなければならなかつた点は次に申し上げる歳出関係に於いて御諒察いただけることと存じますが、この財源を確保する為には税収は勿論税外収入についてもあらゆる努力を傾倒する覚悟であります。

歳出について

次に歳出面について説明前に一言申し上げたい点は、私が常に考え又申し上げております通り、合併による新市建設については、その本来の目的に即応して極力消費的経費の節減を企図し一方投資的経費にその重点を置いて施策致してまいつたのでありまして、合併都市に比して決して遜色のないことを秘に誇りと致すものであります。更に私が申し上げたい点は、少なくとも市政執行者として各種施策について差別的な考えは毛頭なく四万市民の総意に沿い大局的見地に立つて感情に支配せらるることなく公平に而も緊急重要度を勘案し、しかも、財源の許す範囲に於いて急速に完成致す方針は不肖就任以来一貫せる信念であります。

従いまして建設計画についてもその緊急重要度によつて年度の繰上げ或は繰下げ等これ又止むを得ない点は良識ある各位の御諒解いただけることと存じます。

私は三十一年度予算編成に際し前以つて各課長に対し歳入の見込額と重点施策の大綱を示しその線にそつて歳出要求書を作製せしめ提出いたさせました。その結果要求総額は約二億七千万円に達したのであります、これを仔細に検討致しましたがいずれも私の指示に従つての成案であります為、これが取捨については容易に決定致しかねたのであります、しかし乍ら財源とのバランスを考え合せる時、歳入予想を上廻ること七千万円の額は余りにも均衡を失した額で本年度税外収入総額に匹敵する額であります、私は玆にこの歳出総額を歳入面まで減額調整するに当り、まず経常的経費殊に人件費については、これを最少限に止め、その他需用費等についても出来得る限り縮減を加え最後に事業面について緊急重要度に応じ取捨致したのであります、従つて私としては限られたる財源を以つてこれを適切有効にしかも能率的に運営するに当つては市民多数の要望にも拘らず涙をのんで当初予算計上を割愛せざるのやむなき結果と相成つたものも多くある事を御諒察いただけることと存じます。

重点事業

かくて私は合併新市発足以来二ケ年間の施策を省りみ、本年度事業の重点として土木関係において都市計画の早期完成を期するため残余の原型測量に基く都市計画街路の設定並に是に基く主幹道路の新設改良、加島踏切問題解決に主力を注ぎ、社会労働関係については、国民健康保険の実施、住宅建設事業を重点とし保健衛生面については財源に関係ある、と場の完成、火葬場改築の基を主体とした予算を編成致し、産業経済費については三土地改良区の事業に対し予算外義務負担の決議の線に沿い三十年度事業費補助を計上しその完遂を期するものであります。

更に水道事業は年来の緊急事業として一千万円の繰出金を計上致しこれ又本年度重点施策の一としたのであります。

次に富士警察署建設については、県担事業とは申せ本地区住民の治安の万全を期するためには寸時も放任いたすことは許せません、多額の出費も又やむを得ないことは各位の認識せらるる所であり別途予算支出を考えているのであります。特に教育関係については合併以来最も重点的に施策を続けて参いつたのでありますが、なお完備の域に達したとは申し上げられません。旧臘議員各位御視察の結果第二小学校舎、富士中講堂、岩松小学校改築等の要望切なる点は充分諒解致す所で御座います。而し乍ら本年度の財源並に緊急重要施策の山積を考え本年度教育関係の新規事業は全面的に当初予算計上を割愛せざるを得ない現状でありますが、岩松小学校改築については関係各位の真摯なる要望の熱意に答え取敢えず五百万円を計上し私の誠意を示した次第であります。私は財政が許すならば要望をまたず進んでこれが実施に当る熱意は敢えて人後に落るものでない事を申し上げたいと存じます。何卒私の苦衷を御諒察賜り度く念願致す次第であります。

（款別の説明略）

水道事業特別会計

次に上水道事業でありますが、全市域を総合致しました布設計画が一月三十日付をもちまして厚生、建設両大臣より認可指令を得ましたことは、誠に同慶にたえない所であります。又布設事業も予期の進渉を見つつありまして三十年度末におきましては、給水戸数一、六〇〇余戸に達する予定でありますことは各位不断の御協力による成果でありまして、誠に感謝にたえない次第であります。

つきましては、昭和三十一年度に於ける布設計画でありますが、各位御承知の如く当市域全般に亘り地下水位は年々低下の一途を辿りつつありまして、最近に於ける井水の過半は枯渇し市民の日常生活を脅しつつある現状に鑑みますとき、水道の布設は誠に喫緊の要務と存じますのでまず以て根田の水源設備を築造いたしまして、これより配水本管を駅南まで延長布設し、管路の系統により順次水源に近い富士、鷹岡線沿線部落と、駅南部落に配水管を布設し、給水の渇望に応えんとする計画でありまして、計上いたしました予算総額は歳入、歳出とも八三、一七〇千円であります。

歳出予算につき申上げますと、事業費が七三、〇三〇千円でありまして、他の一〇、一四〇千円が業務費、公債費外であります。

次に歳入でありますが、事業収入といたしまして、使用料及び手数料が五、〇五〇千円、加入者負担金に於て三、〇〇〇千円、その他一二〇千円合計八、一七〇千円を見込みますと、差引七五、〇〇〇千円の不足財源を一般会計より繰入金一〇、〇〇〇千円と市債（起債）六五、〇〇〇千円に求めました次第であります。

繰入金につきましては一般会計において申し上げました財政事情によりまして一〇、〇〇〇千円を限度とせざるを得なかつたことを御諒承願いますとともに、市債六五、〇〇〇千円の獲得につきましても相当至難なものがありますことを予想さる次第でありますが、最善の努力を傾注いたす所存でございます。

各位におかれましても積極的なる御協力を切に御願申し上げる次第でございます。

（公益質屋特別会計説明略）

（中央病院特別会計説明略）

以上甚だ要を得ませんが、昭和三十一年度一般会計、特別会計について、予算編成の経緯と施政方針の一端を申し上げたのでありますが、一応予算編成はいたしましたが限られたる財源をもつて計画完遂の為には、なお追加財源獲得必至等を考えます時これが運営に当る私の責任の重大なる事を重ねて痛感致すところであります。

巷間よく聞く事でありますが、十の財源をもつて十の仕事をする事は誰でも出来る、即ち無から有を生ぜしめる事、言い換えれば、窮乏せる資力を以つて百%の効果を挙げる事が政治の要諦であると言えましよう。誠に御説御もつともと存じます。私は今年こそ大いに政治力を活用し、十二分の効果を挙げ以つて四万市民の与望に応えたい存念でございます。生来政治力に乏しい私の為、各位の御指導と御鞭撻を懇願いたすと共に提出致しました議案について慎重御審議の上何卒御協賛を賜らんことを御願い申し上げ私の説明を終ります。